

目次

監修のことば	iii
序文	v
本書を活用するにあたって	vii

ADLレベル分けアプローチの考え方

1

① 脳卒中片麻痺の ADL のレベル分けの意義	2
① ADL をレベル分けするアプローチに取り組むようになったきっかけとその効果	2
② 身体機能のレベル分けと ADL のレベル分け	2
③ ADL レベル分けアプローチ実施以前の「介助の悪循環現象」について	3
④ 「介助の悪循環現象」から脱出するための ADL レベル分けアプローチ	3
② 各 ADL のレベル分け	4
① 起き上がりのレベル分け	4
② 座位のレベル分け	5
③ 立ち上がりのレベル分け	6
④ 車椅子への乗り移りのレベル分け	7
⑤ 歩行のレベル分け	8
⑥ 車椅子用トイレへの乗り移りのレベル分け	9
⑦ 車椅子用トイレでのズボンの上げ下げのレベル分け	10
⑧ 家庭トイレへの移動のレベル分け	10
⑨ 玄関の段差昇降のレベル分け	11
⑩ 浴槽への出入りのレベル分け	12
⑪ 布団からの立ち座りのレベル分け	13
⑫ 階段昇降	13

13 自動車への乗り移り 14

3 在宅生活の状況と ADL レベルとの対照表 15

ADL レベル分けアプローチの実際 17

I 起き上がり レベル分けアプローチ 19

II 座位 レベル分けアプローチ 29

III 立ち上がり レベル分けアプローチ 37

IV 車椅子への乗り移り レベル分けアプローチ 43

V 歩行 レベル分けアプローチ 51

VI 車椅子用トイレへの乗り移り レベル分けアプローチ 65

VII 車椅子用トイレでのズボンの上げ下げ レベル分けアプローチ 73

VIII 家庭トイレへの移動 — 車椅子が便器のそばまで入らない場合 レベル分けアプローチ 79

IX 玄関の段差昇降 レベル分けアプローチ 89

X 浴槽への出入り レベル分けアプローチ 97

XI 布団からの立ち座り レベル分けアプローチ 111

XII 階段昇降 — 階段手すりが右側の場合と左側の場合の方法 123

XIII 自動車への乗り移り レベル分けアプローチ 129

資料1 つかまり立ちにも介助が必要な患者さんのリハビリ計画 144

資料2 ADL レベル達成表 146

あとがき 149